

# 可児市ペットボトル再生推進

## サントリーとリサイクル協定 県内初



協定書を交わした富田成輝市長(左)と藤原正明執行役員  
可児市役所

可児市とサントリーホールディングス(HD)は8日、回収した使用済みペットボトルを新たなペットボトルへ再生するリサイクル事業で協定を結んだ。年間1年、リサイクル技術を開発。翌年から段階的に商品にリサイクルペットボトルを導入している。回収量増を狙い、昨年から自治体との協定を結んでいる。県内

## バローも協力、年間計8万キ超

の自治体との協定は初めてで、東海3県でも3件目。8日は、可児市役所で協定締結の式典があり、富田成輝市長とサントリーHDサステナビリティ経営推進本部副本部長の藤原正明執行役員が協定書を交わした。富田市長は「低炭素社会を目指す市として、市民企業との総ぐるみでペットボトル回収に取り組む」と力を込め、藤原執行役員は「循環型社会を次世代へつないでいく上で大変有意義だ」と喜んだ。バローHDの篠花明常務は「バローが社会的責任を果たす上で価値ある取り組み」と全面協力を約束した。

現在、国内で回収されたペットボトルの多くはトレイや衣料などへ再利用され、最終的に焼却処分される。サントリーの技術では何度もペットボトルにリサイクルできるという。

(三輪真大)